

令和5年度 第16回全体庁議（2月2日開催）

| | | | |
|----|-------|--------------|-------------------------------|
| 区分 | 審議・報告 | 案件名 (担当部) | (1) 帯広圏デジタル化推進構想（案）について [総務部] |
|----|-------|--------------|-------------------------------|

■ 提案・報告の趣旨

令和6年1月29日に開催した帯広圏デジタル化推進協議会で決定された帯広圏デジタル化推進構想(案)について、令和6年2月15日開催の総務委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 はじめに 本構想は、帯広圏1市3町における地理的一体性や規模感を活かし、共通の方向性のもとでの効果的なデジタル化の推進により、活力ある地域づくりに資するために、基本的な考え方をまとめたもの。

2 帯広圏の特性と圏域で取り組む意義

- (1)生活圏としての一体性と一定の規模感 (2)広域都市圏としてのポテンシャル
(3)国の計画等における地域間連携や地域生活圏

3 構想の位置づけ及び構想期間

各自治体における総合計画、総合戦略等の既存の計画との関係については、自治体ごとの実情に即して整理する。構想の期間は、令和6年度から概ね5年程度とし、必要に応じて見直しを行う。

4 基本的な考え方

- (1)2つの基本戦略
- ・ローカルハブ ～地域の活力向上につながるデジタル化～
 - ・ウェルビーイング エリア ～住民の幸せにつながるデジタル化～
- キャッチフレーズ 『DXで拓く「食と健康」の世界的拠点“帯広圏”』
- (2)目指す方向性
- ・住民向けサービスの共通化・標準化
 - ・デジタル化の推進による地域産業の進化
 - ・デジタルの力で輝き続ける環境づくり
 - ・圏域の魅力発信と関係人口等とのつながりの強化

5 推進手法

- (1)圏域内外での好事例の横展開を進める (2)スモールスタートで、できるところから始める
(3)デジタルに慣れ親しんだ世代から広げていく

6 基本戦略に基づく施策

- (1)ウェルビーイング エリアに関する施策 ・公共サービスを中心に、住民の利便性向上や行政の効率化が見込まれる分野を中心に取り組んでいく。
(2)ローカルハブに関する施策 ・施策の柱として、「自立力」「連携力」「創造力」「求心力」の4項目を設定し、中長期的な取組として、民間との協働・協創を基本として取り組んでいく。

7 参考指標

デジタル化の幅広い取組の総合的な効果により改善が見込まれる指標を参考指標として設定

- ・1市3町と十勝管外との間の人口移動数
- ・1市3町の法人住民税の課税法人数
- ・住民アンケートによる「行政のデジタル化」の実感度
- ・母子手帳アプリの登録者数

■ 今後のスケジュール

- ・令和6年2月15日 総務委員会へ報告
- ・令和6年2月 帯広圏デジタル化推進協議会による構想の決定

■ 審議結果

同内容で、令和6年2月15日開催の総務委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等